

第一部：シンポジウム（13 時 00 分から 14 時 20 分まで） ※オンライン同時配信

「東京デフリンピックからひろがる未来」と題して、東京 2025 デフリンピックの振り返りやそのレガシー、2026 年開催予定のスペシャルオリンピックス 2026 東京等について、トークセッションを行います。

<ゲスト>

氏名	所属・経歴等
かわまた いく み 川俣 郁美 氏	・公益財団法人日本財団特定事業部 障害インクルージョンチーム（兼）グローバル・イシューチーム ・東京 2025 デフリンピック応援アンバサダー
さとう まさき 佐藤 正樹 選手	・ケイアイスター不動産株式会社 ・2024 年第 2 回世界ろう者柔道選手権大会（カザフスタン）優勝 ・東京 2025 デフリンピック柔道男子 66kg 級日本代表 男子団体銅メダル獲得
ひらおか ひろあき 平岡 拓晃 氏	・公益財団法人スペシャルオリンピックス日本理事長 ・ロンドン 2012 オリンピック柔道男子 60kg 級銀メダル獲得

<ファシリテーター>

ふじた もとあき
藤田 紀昭 氏：日本福祉大学大学院スポーツ科学研究科教授
公益財団法人日本パラスポーツ協会技術委員会副委員長



第二部：分科会（14 時 40 分から 16 時 50 分まで）

パラスポーツを支える活動への関心を高めるとともに、参加者間の交流を図るため、多様なプログラムから興味のあるコンテンツを選択できる分科会を開催します。

A 講演会（各回定員：100 名）

① 東京 2025 デフリンピック～凱旋報告～

<ゲスト>

氏名	所属・経歴等
かめざわ り ほ 亀澤 理穂 選手	・住友電設株式会社 ・東京 2025 デフリンピック卓球女子日本代表 女子団体銀メダル獲得

② 東京 2025 デフリンピックボランティアによる活動レポート

ボランティアに実際に参加された方が、その活動内容等をレポートします。

B 活動サポート（各回定員：30 名）

① 「TOKYO 障スポ&サポート」を活用しよう

障害者スポーツボランティアポータルサイト「TOKYO 障スポ&サポート」の利用方法や登録のメ

リットを知り、今後の活動の場を広げる機会にします。

② スペシャルオリンピックスについて知ろう

スペシャルオリンピックス 2026 東京や、スペシャルオリンピックス日本の活動などについて知り、活動の選択肢を増やす機会にします。

C 交流会（各回定員：30 名）

① 活動仲間と情報交換

活動地域や年齢の近いパラスポーツを支える仲間との交流を図り、今後の活動につなげます。

② 活動の悩みや工夫を共有しよう

指導者やパラスポーツボランティアとしての活動について、グループディスカッションを行い、課題を共有しながら、参加者同士で考えます。

D 体験会（全時間共通・各回定員：40 名）

・みんなで対戦！e スポーツ

障害の有無に関わらず楽しめる e スポーツについて、参加者間で対戦し、その魅力を体験します。

・みんなで楽しむパラスポーツ体験

デフリンピックの陸上競技で使用する光刺激スタート発信装置（スタートランプ）や卓球バレーの体験を通じて、パラスポーツへの理解を深めます。

<第二部 分科会 タイムスケジュール（予定）>

時間帯	A 講演会	B 活動サポート	C 交流会	D 体験会
	デフリンピックの感動をもう一度！	活動の幅を広げよう！	仲間とのつながりを作る！	最新のパラスポーツを体験！
14:40- 15:05	①亀澤選手による東京 2025 デフリンピック凱旋報告	①「TOKYO 障スポ&サポート」を活用しよう	①活動仲間と情報交換	・みんなで対戦！e スポーツ ・みんなで楽しむパラスポーツ体験
15:15- 15:40	②東京 2025 デフリンピックボランティアによる活動レポート	②スペシャルオリンピックスについて知ろう	①活動仲間と情報交換	・みんなで対戦！e スポーツ ・みんなで楽しむパラスポーツ体験
15:50- 16:15	①亀澤選手による東京 2025 デフリンピック凱旋報告	①「TOKYO 障スポ&サポート」を活用しよう	②活動の悩みや工夫を共有しよう	・みんなで対戦！e スポーツ ・みんなで楽しむパラスポーツ体験
16:25- 16:50	②東京 2025 デフリンピックボランティアによる活動レポート	②スペシャルオリンピックスについて知ろう	②活動の悩みや工夫を共有しよう	・みんなで対戦！e スポーツ ・みんなで楽しむパラスポーツ体験

※ 分科会は、A～D の4部屋で実施します。参加者はこの中から4つ選んで参加いただけます。

このタイムスケジュールは現時点の予定であり、今後変更の可能性あります。

【これまでパラスポーツフォーラムに参加した方の声】

- ・選手やコーチの立場からの話に沢山の気づきやヒントをもらい大変参考になった
- ・支える立場を志す人たちの今後のビジョンなど、様々な情報交換ができて良かった
- ・支える活動を継続するモチベーションにつながった